

ミレニアル世代は1日あたり157回以上スマホをチェックしている

2016年5月31日



今朝、タイムズ・センターで行われた第1回 SMWNYC セッションで、フェイスブックの北米マーケティング責任者ミシェル・クラインの話を伺った。ミシェルは、私たちの指先にあるすべてのテクノロジーを強調し、「私たちはほぼ超人だ」と言って、プレゼンを開始した。

次に、彼女は今日のデジタル時代の数字をいくつか紹介した。平均的な成人は1日に30回スマホをチェックし、平均的なミレニアル世代は1日に150回以上スマホをチェックする。ミシェルが説明したように、私たちの生活に存在するのは、「目をそらすことなく、他の人と繋がるのに役立つコミュニケーションの感覚的体験」である。これは、彼女のようなマーケターにとっては素晴らしいことである。マーケターに、聴衆と繋がる100万通りの方法を与えることになるからである。

次に、ミシェルはテクノロジーを使用して人々に利益をもたらす、最高のコミュニケーションを生み出す方法について話し合った。彼女が言ったように、最高のテクノロジーには次のものが含まれる。「物事をよりよくするもの、ストーリーを語ることで人々を繋ぐもの、即時性があり、表現力豊かで、没入できるもの、適応し変化するもの」ミシェルは、彼女の生活をより簡便に、よりよくする、日常的に使用しているアプリについて話した。

ストーリーを語ることに限らず、フェイスブックで、友達の人生のそれぞれのナラティブを見ることを通じ、人々が共有し、繋がることできる。次に彼女は、現在、世界で最もダウンロードされている10個のアプリのうち6個がメッセージング・アプリであると述べた。フェイスブック・メッセンジャーのようなメッセージング・アプリは、「リアル・タイムで、今のテクノロジーである。次にミシェルは、「表現力」について話し合い、画像が世界をナビゲートし、シンプルかつ迅速な方法でストーリーを伝えるのにどのように役立つかを説明した。